

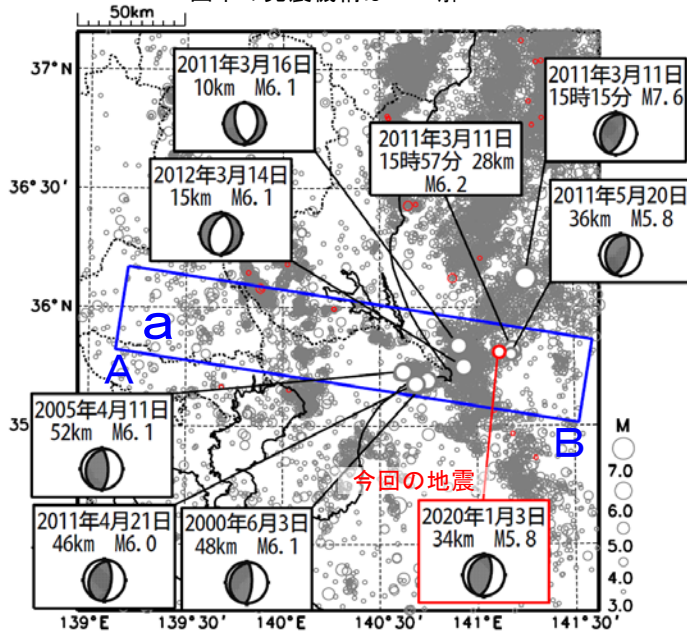
## 1月3日 千葉県東方沖の地震

### 震央分布図

(1997年10月1日～2020年1月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ )

2020年1月の地震を赤く表示

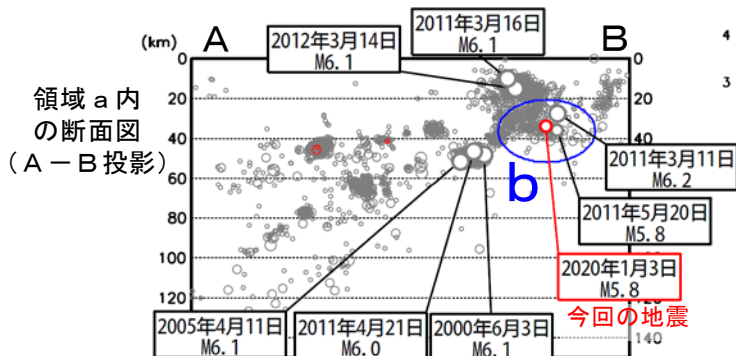
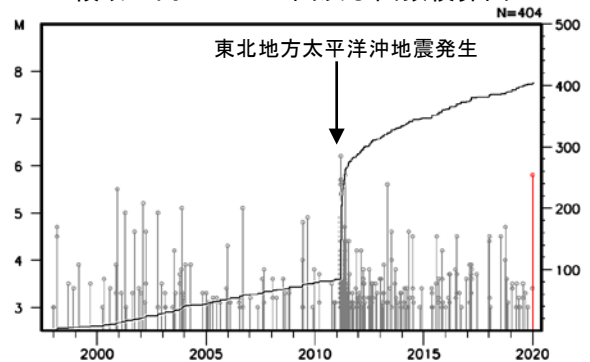
図中の発震機構はCMT解



2020年1月3日03時23分に千葉県東方沖の深さ34kmで $M 5.8$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」と記す)の発生後は、2011年3月11日15時57分に $M 6.2$ の地震(最大震度4)が発生するなど、地震活動が一時的に活発になった。

### 領域b内のM-T図及び回数積算図

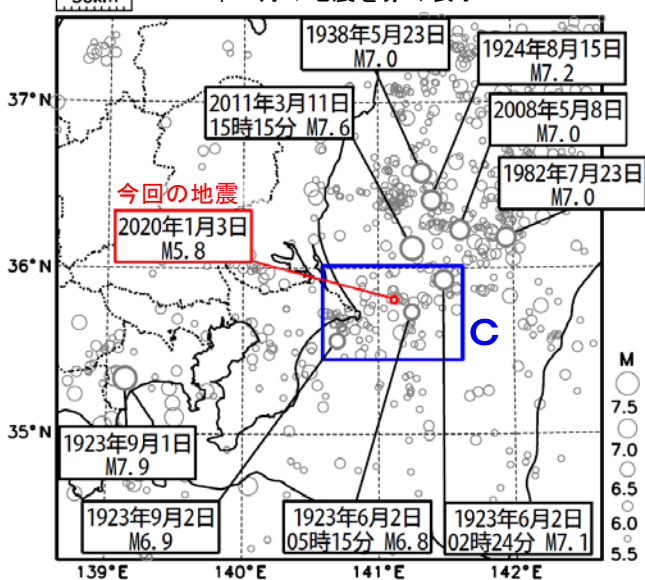


1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1923年6月2日02時24分の $M 7.1$ の地震では、鮎川で32cm(最大全振幅)の津波を観測した(「日本被害津波総覧」による)。また、この領域の北側では2011年3月11日15時15分に $M 7.6$ の地震(「東北地方太平洋沖地震」の最大余震、最大震度6強)が発生している。

### 震央分布図

(1919年1月1日～2020年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$ )

2020年1月の地震を赤く表示



### 領域c内のM-T図

